

I. 予備調査について

I-1. 事業管理者のプロフィール

団体名 (代表者名)	建設産業専門団体関東地区連合会 会長 向井 敏雄		
所在地	東京都台東区東上野 5-1-8 上野富士ビル 9F		
電話番号	03-3845-2727	E-mail	
FAX番号	03-3845-6556	URL	http://www.jwmca.jp
設立年月日	平成 15 年 6 月	担当者名	

I-2. 申請時の事業概要

建設産業専門団体関東地区連合会が中心となって、本年7月に立ち上げる「関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会（仮称）」（以下「夢協」という。）が、「技能労働者」の確保・育成を効果的に進めるため、建設業の魅力を発信し、入職・定着の促進を図るため、以下の取組みについてフィージビリティスタディを行う。

- ① 夢協における建設産業の魅力の発信の強化、入職・定着促進のための事業実施及び教育訓練を実施できる環境の整備のための計画・検討を行う。
- ② 将来の入職促進及び建設産業に対する理解を深めることを目的として、小中学校をターゲットとした出前講座「夢協出前講座」を効果的に実施するための調査検討を行う。
- ③ 定着促進を図ることを目的として、入職3年目までの若手の連携・団結のための研修「夢協若者合宿」及び親方に若手を理解してもらうための講習会「夢協親方講習会」を効果的に実施するための調査検討を行う
- ④ 「建設労働者緊急育成支援事業」を円滑に実施するため、関東の1都8県及び静岡県内に設置されている建設関係認定職業訓練校での実施可能性について調査検討を行う。
 - ・認定職業訓練校での訓練内容等の調査
 - ・各専門工事業が職種ごと作成されている職業訓練カリキュラムを調査 など

II. 調査結果

II-1. 実施した調査内容

※調査を行った事項について、具体的に記入してください。

【夢協出前講座】

- ・専門工事業団体による出前講座等の実施例（専門工事業団体への聞き取り）
- ・出前講座の開催方法（文部科学省、厚生労働省などへの聞き取り）
- ・建設産業専門団体関東地区連合会会員への意向調査

【夢協若者合宿】

- ・若者合宿の実施例（国土交通省中部地方整備局などへの聞き取り）
- ・建設産業専門団体関東地区連合会会員への意向調査

【夢協親方講習会】

- ・若年労働者の離職要因や親方講習会の必要性について
- ・建設産業専門団体関東地区連合会会員への意向調査

【認定職業訓練校】

- ・ 関東 1 都 8 県及び静岡県内で、教育訓練を行っている建設関係の認定職業訓練校の洗い出し
- ・ 洗い出した認定職業訓練校に実態アンケート調査（学校名、住所、連絡先、訓練科目、訓練時間、定員など）

Ⅱ－２．地域教育訓練ネットワーク構築について

※団体等と連携し、教育訓練組織のネットワーク連携の可能性について記入してください。

関東圏では、5 年後の東京オリンピック・パラリンピックの開催、東日本大震災からの復興・復旧工事の進捗、社会資本の老朽化対策などにより建設需要が高まっているところであり、早急な人材確保対策を複層的に講じていく必要がある。また、関東圏は我が国の中枢であり、経済活動の中心地でもある。若年入職者の減少がこれ以上進むと災害等の有事の際にこの重要な地域を守る建設業が機能しないことにもなりかねない。関東圏の各都県建設業協会等では、かねてより建設業のイメージアップや若年労働者の入職・定着促進のための活動に力を入れてきているが、今後の建設需要の高まりに対応していくため、特に確保が必要な技能労働者を抱えている専門工事業においても、具体的に入職・定着事業を行うことが必要である。このため、建設産業専門団体関東地区連合会では、関東地方整備局、埼玉労働局等をはじめとする行政機関、普通高校、工業高校、富士教育訓練センターをはじめとする教育機関、専門工事業団体等の関係団体等の協力を得て、産学官によって「関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会」（夢協）を設置し、技能労働者の確保・育成を具体的に進めるとともに、技能労働者が入職後も夢や希望を描ける社会が実現できるよう活動していく。

Ⅱ－３．教育訓練体系の内容について

※教育訓練施設の確保やカリキュラム・教材・講師等について調査内容を記入してください。

○カリキュラムの整備について

【夢協若者合宿】

- ・ 対象者：概ね 30 歳以下の技能者
- ・ カリキュラム：2 日程度で開催。座学とグループワーク、現場視察などを通じて、建設業の魅力を再認識、若者同士のコミュニケーション・ネットワークづくり
- ・ 講師：専門工事業経営者、教育機関の担当者などを想定

【夢協親方講習会】

- ・ 対象者：職長や現場の管理業務を行っている職長クラスの技能者
- ・ カリキュラム：若者との係わり方・コミュニケーション方法・職場の雰囲気づくりなどの講義、グループディスカッション
- ・ 講師：工業高校の教師、人事・組織関係に詳しい大学関係者など有識者、採用や人材育成などを行っているコンサルタント会社の専門家などを想定

【夢協出前講座】

- ・ 平成 28 年 3 月 4 日に神奈川建設重機協同組合と連携し、神奈川県立磯子工業高校での出前授業を開催する。
- ・ 平成 28 年度に、墨田区学校支援ネットワーク本部と連携し、墨田区学校支援ネットワーク事業を活用した出前講座を東京都内の小・中学校で開催する。

【認定職業訓練校】

・未就職者などに建設関連の職業訓練を受けてもらうことで建設業（専門工事業）への入職を促す。今回行った関東1都8県及び静岡県内の認定職業訓練校への調査結果を踏まえ、地域の認定職業訓練校に対して、連携についての具体的なアプローチなどを行う。

Ⅱ-4. その他周辺事業について

※その他広報活動などはここに記入してください。

上記取り組みを報告書としてまとめ、関東等地区の工業高校、関東地区の職業訓練校をはじめとする教育訓練機関、国土交通省、関東地方整備局をはじめとする行政機関、民間発注団体、元請団体等をはじめとする関係団体へ配布することにより、PR活動を行った。

Ⅱ-5. 実施事業への移行について

※実施事業に移行できるかどうか。誰とどのようなことをしたいか等大まかな予定を記入してください。

予備調査の結果、実施事業への移行は可能と考えている。実施事業は以下の項目で想定している。

1 夢協出前講座

高校へ進学する時点で既に生徒自身が方向性を決めていることが多いこと、工業高校では「技術者」を目指している生徒が多く、建設労働者の大部分を占める建設技能者を目指している生徒は少ないことなどが解っている。こういったことから、夢協では、まずは生徒が自分の方向性を固める小中学校の生徒へ魅力を発信するため、墨田区学校支援ネットワーク事業、建設労働者確保育成助金（厚労省）を活用した出前講座を実施する。

※ 21年度に墨田区教育委員会のすみだ教育研究所内に墨田区学校支援ネットワーク本部が設置された。同本部は、小・中学校の出前授業のニーズを把握するとともに、その期待に応える地域の協力団体などを発掘。「出前授業プログラム」を作成した上で冊子にまとめ、小中学校に紹介している。これにより、小中学校から選定されたプログラムは、墨田区を中心とした東京都内の小中学校において出前講座を実施できる。

2 夢協若者合宿

【対象者】 概ね30歳以下とする。（建設業界に入職してから概ね1～3年目の者、職業訓練中の期間雇用者など）

【募集人員】 40名

【開催場所】 関東地方整備局（さいたま市）を想定

【講義内容】 1日目（座学）2日目（現場研修）

3 夢協職長講習会

【開催場所】 関東地方整備局（さいたま市）を想定

【対象者】 職長又は現場の管理業務を行っている者

【人数】 40人程度

【目的】 若者との係わり方について、講義を受けるとともに職長間で日頃の悩み・苦勞していることを話し合い、今後の仕事に活用する。

以上